

幼児センターだより

心のまなざし 9月号

令和5年8月31日発行 認定こども園様似町立幼児センター



これまで様似町内では経験したことがない、厳しい暑さに見舞われた8月。子どもたちは、1か月を通して毎日水遊びを楽しみましたが、幼児センターの歴史の中でも初めてではないでしょうか。酷暑の中でも、子どもたちは暑さに負けず、夏ならではの遊びを存分に楽しみ、いきいきと過ごすことができました。子どもたちが元気に過ごせるよう、ご家庭で体調管理に留意していただき、ありがとうございます。

9月も残暑が厳しい予報となっておりますが、子どもたちの遊びや生活が充実するよう、教育保育を進めてまいります。



今月のトピック 「サークルタイム」～互いを尊重し、ともに育ち合う対話の機会～

サークルタイムとは、クラス集団などで輪になって対話を行う活動です。子ども同士がお互いの顔を見合って思いや考えを言葉で伝え合うこと、言葉で伝えきれなくても表情や態度から相手の気持ちを感じ取り、互いを尊重し合う関係性が生まれる機会として、子どもの主体性を大切にする保育の現場で取り入れられています。

サークルタイムを進めるにあたって大切にしたいことは、保育者(大人)が子どもを「人間としてみる」保育観です。保育者がある子の見ている世界をともに見ようとし、その子の声に聴き入ることで、子どもと保育者の対話的な関係性が生まれます。そのような関係性の中で聴くことができる子どもの声には、「〇〇ちゃん、そんなふうに考えていたんだね」「なるほど、それってすごいアイデアだね」と考えや感じ方に驚かされます。幼児センターでもサークルタイムが子どもも大人も互いに育ち合う機会と捉え、楽しく活動を進めていきたいと考えます。

○様似町立幼児センターの教育保育について、ホームページでも紹介しています○



幼児センターの教育保育目標

「遊びを通して、自ら感じ、自ら考え、自ら行動できる子どもの育成」

～目標に向かって、8月はこんな教育保育を行いました～



○年長児「お手伝いさん活動」

小学生ふれあい交流を通じた異年齢のかかわり合い○

夏休み期間に実施した、年長児や小学生との異年齢交流は、とても有意義な育ちの機会となりました。小さな子たちを思いやり優しくかかわるおにいさん、おねえさんの姿に、小さな子たちもすっかり打ち解け、かかわり合いを楽しんでいました。

○アポイの火まつりに、

よさこい踊りで参加しました○

様似町の夏の一大イベント「アポイの火まつり」で、4、5歳児クラスの子どもたちがよさこいソーラン踊りを披露しました。

7月の運動会が終わってから練習を始め、毎回いきいきと踊りを楽しむ様子がありました。地域交流会での民謡、尺八演奏による「ソーラン節」に触れた経験から、より一層親近感を持って踊りを楽しむことができたように思います。



○未満児園庭での夏の遊び○

0、1歳児の子どもたちも、毎日未満児園庭で水遊びをはじめとした夏の遊びを楽しみました。夏休み期間には、年長のおにいさん、おねえさんが「お手伝いさん」として遊びに来てくれ、お花摘みや水遊びを楽しみました。

父母協力会事業で保護者の皆さまにみがいてもらった流木で作った流木ハウスに登ろうと挑戦したり、泥と水を混ぜて泥んこ遊びを楽しむなど、暑さに負けず遊びこむことができました。



9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 ☆交通安全指導月間 至30日	2 ☆おひさま グループ休み
3	4	5 ◇避難訓練 (台風バス避難)	6 地域交流会 (昔あそび)	7	8 ◇身体測定 5歳児	9 ☆おひさま グループ休み
10	11	12 ◇身体測定 3歳児 ◇リトミック	13 ◇身体測定 4歳児	14	15 ☆愛情弁当	16 ☆おひさま グループ休み
17	18 敬老の日	19 ◇リトミック	20 ◇4・5歳児 参観日	21 ◇みらい塾(5 歳児)	22	23 秋分の日
24	25	26 ◎身体測定 0.1歳児 ◇リトミック	27 ◎身体測定 2歳児 ◇みらい塾 (4歳児)	28 ◇新入学児童 知能検査	29 ☆佐藤作業療 法士発達相 談	30 ☆全園児 ◇幼稚園 ◎保育園

～行事についてのお知らせ～

※5日(火)は台風を想定した訓練を行います。

※6日(水)は、年長児が学校支援ボランティアの方とけん玉・コマ・お手玉・あやとり・竹馬などの遊びを楽しみます。交流後は一緒に給食を食べます。

※15日(金)は、愛情弁当の日です。全園児家庭から手作りのお弁当を持たせてください。

持ち物についてはクラスだよりで確認してください。

※28日(木)は新入学児童知能検査を小学校で行います。後日案内を配付します。

●園長から保護者の皆様へ● ～子どもたちがこれから生きていく上で必要な力「非認知能力」～

やる気や自信がもてること、我慢できること、コミュニケーション力などの「非認知能力」は、5歳までに身につくといわれています。

「泣いたらだきしめる」「一緒に食事する」「絵本を読む」「一緒に料理する」「良いことをしたときに、しっかりほめる」といったの親子の関わりが「非認知能力」を伸ばすようです。

タブレット等の使用は最小限にし、子どもとの会話を大事にしましょうね。